

# Validation Seminar 2006

2006年12月14日(木曜日)に「なかのZERO  
(東京都中野区)」で開催した「ビッキー・デクラーク・  
ルビン氏が語るバリデーションセミナー2006」に  
て、多くの受講者の皆さまがアンケートにご協力くだ  
さいました。  
アンケート結果を下記にご報告いたします。

## アンケート結果報告 (全会場共通)

セミナーに参加してみてものご感想、ご意見をお聞かせください。

- 😊 とても楽しかったです。それと同時に、自分が今まで行っていた間違った対応に気付くことが出来ました。
- 😊 もっとバリデーションを学びたいと思いました。薬ではなく、バリデーションで少しでも利用者が楽になってくれればと思います。
- 😊 講師のデモンストレーションやロールプレイにより、わかりやすくなり、砕いていただけたので良かったです。
- 😊 どのようなものか、本を読むよりわかりやすかった。職員のニーズなのか、利用者のニーズなのか、もう一度考え直さなければいけないことがあるなど気付いた。
- 😊 2回目ですが、本当に良かったです。具体的な事例に沿った講義がわかりやすく、楽しいセミナーでした。
- 😊 認知症の方のケアならびにコミュニケーションについて悩んでいました。どのようにその方の思いを引き出したらよいのか、また、どうして大声をあげるのかなど、関わりのポイントを探していました。今回の研修を、現場に帰り少しでも役立てて、利用者さまの生活が豊かになれば、と思います。
- 😊 講義だけでなく、演習やビデオ等があった良かったです。質問の時間も多く、多くの意見を聞けて良かったです。
- 😊 同じ悩みをもった方々がいらっしや、皆様も努力していることを知り心強く感じました。施設に戻ってアクティビスニングをやってみようと思います。
- 😊 とてもいい勉強になりました。日々の仕事に少しでも生かしていきたいです。
- 😊 一言で「共感」といっても難しそうですが、少しでも「利用者さまの気持ちを知りたい」という姿勢をもつ良いきっかけになりました。介護者のニーズが、利用者さんのニーズを邪魔している、という言葉は重かったです。
- 😊 今までの日常の関わり方が間違っていたことに気付かされました。「うそをつかない」という部分は特にです！ 利用者のニーズを考えていたつもりが、ワーカー側の都合が多々あったという点にも気付かされました。
- 😊 活発な討論もあり、有意義な研修でした。
- 😊 小ホールなのにも関わらず一方的でなく、みんなが共有する時間となり心地良かったです。講師のロールプレイに魅了されまし